



## 最後まで全力疾走 制度推進が国民の幸せに繋がると信じて！

茨城県行政書士会  
会長 國井 豊

会員の皆さん、いかがお過ごしですか。いつも心暖まるご指導を賜り、深謝いたします。正月気分も束の間、新しい年度への出会いと別れの季節となりました。現執行体制の任期も残りわずかです。会員間の融和を第一に、組織の充実発展を図ることで、行政書士制度のより良い推進に繋げてまいりたいと思います。最後まで、変わらぬご指導ご協力のほど、よろしく願いいたします。

最近、小中学校等において法教育を実施する単位会がみられるようになりました。トップランナーは東京都行政書士会ですが、各県、それぞれの地域特性に応じた展開を試みているようです。『行政書士が教壇に』。かつて、このことを想像した人は皆無でしょう。時代の要請や多様性により、公的組織に求められる社会貢献の幅は、格段に広がっていることはいまでもありません。まして、行政書士制度は社会制度、社会正義であり、その地位向上と関連付けられがちです。しかし、制度や会組織は公でも、個々の行政書士は生業である以上、社会貢献を第一義とし、会を挙げて没頭するわけにはまいりません。何事もそうですが、バランスが大切であり、こうした活動を通じて制度が認知され、活用いただくことで、行政書士の出番が増え、市民の役に立ち、私たちの喜びが増える。このような好循環を構築できることが、理想です。

ところで、わが会におきましても、十分な検討研究の成果を得て、具体的な法教育の場

が設けられました。全国の小学校教育において、魁的な存在感を誇る水戸市の私立リリーベール小学校です。詳細は割愛しますが、マスコミにも報道されるなど、一定の評価を得ることができました。しっかりと総括し、制度の推進に繋げてまいりたいと思います。

恒例の2月22日新春交流会は、過去最高の参加者を得て、成功裏に終えることができました。すべての皆さんに、感謝、感謝です。わが会の名誉会員をお務めいただいている橋本昌知事の講演は、社会全体の中で、私たち行政書士に対する役割と期待が高まっていることを、示唆してくださいました。手前味噌かもしれませんが、県行政も幅広い分野から、また市町村や業界団体も数多くご参加いただいたことが、その証左といえるのではないのでしょうか。

そうした信頼にしっかりと応える行政書士でありたい。

会員の皆さんと一緒に考え、ともに創ってまいります。

皆様のご活躍ご健康をお祈りいたします。